



2人から見た 肝付町



リディア&京和

【最後のご挨拶】

あつという間に感じますが、私が国際交流員として肝付町に来てから一年が経ち、ついに帰国の日が近づいてきました。このコーナーやイベントを通して、少しでも皆さんの海外文化への理解や興味を深めるお手伝いできましたなら嬉しいです。去年は、大学を卒業したばかりで、仕事も肝付町について分らないことばかりでしたが、肝付町での生活を送りながら、日本の新たな一面を知ることがで

きて、気づかないうちにここが私にとってかけがえのない場所になりました。肝付町の皆さんのおかげでも充実した一年間になって、本当に感謝しています。これからも日本とアメリカの架け橋として頑張りたいと思います。



リディア・ザンプラン
肝付町のCIR（国際交流員）として、パンフレット翻訳やFacebookで町のPRなどを行っている。



【人生、初のヤマモモ】

今年の5月の末、銀河アリーナの駐車場の大きな木の下に赤い実が絨毯を敷いたように落ちていました。拾ってみたら皮はぶつぶつで、初めて見る実でした。食べて見たら甘酸っぱくて少し渋い所が、韓国で良く食べた桜桃の実と似たような味がしました。どんな実なのか気になって近所の人に聞いてみたら、「ヤマモモ」と教えてくれました。こちらでは良く見られる物で、主に赤く熟した実を採って酒やジャムを作るといいますが、



調べてみたら韓国では濟州島でしか見られない珍しい実でした。

自分にとっては肝付町で知る事になった実なので、記念に何かを作ってみたいと思い、知人のヤマモモの実を採って酒に漬け込んでみました。3か月後によく味見できますが、毎日、ヤマモモが入った瓶を見ながら、その時を楽しみに待っています。機会があれば来年はお酒だけではなくお酢も作ってみたいです。



李 京和（イ キョンファ）
地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。